

【めざす学校像】

<校訓> 向学・研鑽・誠実

<学校の教育目標>

ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成  
～学びあい・支えあい・みがきあい～

【学校の重点目標】

- ①聞く力の育成
- ②話す・表現する力の育成
- ③伝え合う力の育成

【育成を目指す資質・能力】

聞く力・伝える力



≪ 咸宜園教育の理念を生かした学校経営 ≫

「放学遊山」

『咸宜』を基幹にすえ、少人数を生かし一人ひとりの良さを引き出すための、きめ細やかな対応と指導  
『治めてのち学ぶ』を基幹にすえ、凡事徹底6項目による生活指導

誰一人取り残さない教育の実現に向けた組織的な取組の推進

<生きて働く「知識・技能」の習得>

基礎的な知識・技能の確実な習得

- 授業を通した聞く力・伝える力の習得
- ・授業＝家庭学習、さらには大明タイム(AIドリルの活用)や放課後指導をつないでいくことで、指導内容の確実な定着を図る
- ・聞き方「あいうえお」の習得

人権尊重の心を育む知識・価値・技能の習得

- ・道徳科の確実な実施をする
- ・教科書を活用して、道徳的諸価値を多面的・多角的に捉えていく力を育てる

基本的な生活習慣の確立

- 『凡事徹底6項目』の具体化した取組を設定し主体的な生活習慣力の育成
- ・ICTを活用する技能及びメディアリテラシーの習得
- ・体力向上に向け運動への意欲化と習慣化を図る

<未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成>

身に付けた知識・技能を活用して問題を解決する力の育成

- 追及すべき事柄を明確にする「課題」、追及した結果を明確にする「まとめ」を授業の中に設定する
- 思ったことや考えたこと等を「ふりかえり」を授業の中に設定する
- 「伝え合う場」を授業の中で意識して仕組むことで、問題を解決する力と同時に、伝え合う力を育てる（表現力）

多様な価値観を認め、場に応じた道徳的実践ができる力の育成

- ・交流活動を通して、多様な考え方の受け入れ力、場に応じた道徳的実践力を養う
- ・「大明スマイル宣言」をもとにした自治的な実践力を養う
- ・ハッピータイム(人間関係プログラム)の充実

自分の命や健康を守るため、主体的に判断・行動できる力の育成

- ・九州北部豪雨の被災地として、地域・家庭と連携した積極的な防災教育の推進

<学びを社会や人生に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養>

学習意欲や挑戦意欲の向上

- ・学習の見通しをもたせ、意欲を高める単元計画(総合・生活)の設定
- ・授業や活動の中での児童を評価する場を設定することで、学習意欲や挑戦意欲の向上を図る

自他を肯定し、多様な人々と協働する意識の涵養

- 縦割り班活動(学び合い・掃除など)を充実させて協働性を養う
- ・「えがおの花」カード等によって、友だちの良さを見つけあう活動を推進する
- ・地域に関わり、地域を(地域に)学ぶ「ふるさと学習」の推進

健康で安心・安全な生活を営む意識の向上

- ・体力運動能力調査や「家での過ごし方チェックカード」等から課題を明らかにし、改善に向けた組織的な取組(PDCAサイクル)の実施
- ・地域・家庭とのつながりによる体験活動を通じた食育の推進
- ・メディアルールを守った生活習慣の推進

地域とともにあゆむ学校 『ふるさとへの誇りと将来への夢を育む学校づくり』～コミュニティ・スクールの推進～

学習支援

- 家庭学習の確実な実施
- 「家での過ごし方チェックカード」の取組
- 読書活動支援(読み聞かせ)
- 親子読書の推進
- OGTの授業参加
- ・米作り、学級園、家庭科、ふるさと学習、クラブ活動他
- 公民館との連携
- ・水泳教室

防災教育・安全管理

【防災教育】

- 地域・防災士を活用し年間を見通した計画的な防災教育の実施
- 引き渡し訓練を含む計画的な避難訓練の実施
- 地域と連携した防災教育の推進

【安全管理】

- 大明地区/パトロール活動＝DYS
- ふれあい登校(月1回)
- スクールガード
- 大明地区「あいさつ+1の日」(学期1回)
- OSCやSSW、関係機関等と連携した不登校・いじめへの対応

咸宜園教育・ふるさと学習

【咸宜園教育】

- 生活科・総合の時間及び特別活動の活用
- ・1年「淡窓かるた」・2年「休道の詩」・4年「小ヶ瀬瀧井路」
- ・6年「咸宜園」
- 淡窓先生日めくりカレンダー、淡窓コーナー先生コーナーの設置

【ふるさと学習】

- 故郷の「もの・こと・ひと」を活用した生活科・総合的な学習の設定
- ・1年:季節を見つけよう ・2年:身近な自然 ・3年:ふるさと自慢、行徳家 ・4年:水の利用、鳩友園 ・5年:ももは工房、清溪文庫 ・6年:ステンドグラス工房、ふるさとの歴史

キャリア教育

- 生活科や総合的な学習の時間の活用
- ・2年:仕事の様子
- ・3年:なし農家の仕事
- ・4年:福祉施設の仕事
- ・5年:食品加工の仕事
- ・6年:造形の仕事